

# 北松中央病院だより

HOKUSHO CENTRAL HOSPITAL NEWS

内科／呼吸器科／循環器科／消化器科／腎臓内科／糖尿病・代謝内科／内分泌内科  
神経内科／外科／整形外科／脳神経外科／放射線科／リハビリテーション科



撮影地：九十九島 撮影者：岡本和代



病院理念

生命への畏敬

Vol.58

2024.1.25  
Winter

# 新年のご挨拶並びに 事務部長就任挨拶

事務部長 富本 仁



明けましておめでとうございます。

1月より事務部長に就任いたしました富本でございます。  
どうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症においては、昨年5月8日から感染症法上の5類感染症に位置づけられ、今年の3月末までが移行期間となっておりますが、まだまだ感染拡大の時期であることから感染対策を続けなければなりません。そのような中で、新型コロナウイルス感染症患者在適切な医療を受けられる体制を最前線で継続して取り組んでいる、医療スタッフの皆様には改めて感謝申し上げます。

昨年の「今年の漢字」は「税」の文字が選ばれました。「税」が選ばれたのは、消費税率が5%～8%へ引き上げられた2014年以来、2回目だそうです。

当院においても関係するのがインボイス制度の導入でした。インボイス制度とは昨年10月1日から開始した複数税率に対応した消費税の仕入税額控除の方式です。インボイス制度導入後、仕入税額控除を受けるためには、一定の要件を満たした適格請求書（インボイス）の発行・保存をしなければなりません。事業者様の方々におかれましては、実務上においてさまざまな対応をいただきありがとうございました。また、今年からは電子帳簿保存法の改正への対応を行い、問題が考えられる健康保険証廃止による「マイナ保険証」への移行が予定され、利用者への不安がでています。

また、藤井聡太さんの将棋界の頂点であるタイトルをすべて手にする前人未達の八冠独占、長崎出身の女子プロゴルファー櫻井心那さんのレギュラーシーズン4勝など、若い世代の活躍が著しく、新型コロナウイルスの影響もあって、史上初めて3年間隔でフランスで開催されるパリオリンピックでは、多くの日本人アスリートの活躍が期待されることでしょう。

今年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことを心より祈念して、新年のご挨拶と致します。

令和6年1月

## 外来フロアー掲示

今年度より外来フロアーでは、季節に合わせた掲示や患者さんへのお知らせなどを手作りしています。

夏には「ひまわり」を、秋には「コスモスと紅葉」の掲示物を作成し、患者さんからは「季節を感じる事ができてうれしい」などのお言葉を頂いております。

また検査科から「採血について」、放射線科から「CTとMRI検査について」掲示し、患者さんにも検査等について理解を深めてもらおうと取り組んでいます。

他にも事務室や地域医療連携室など、患者さんに関わる多職種についても掲示しています。来院された際は、ぜひ外来フロアーをご覧ください(季節により掲示物の内容が変更する場合があります)。



### WORKSHOP



## 地域交流会

9月30日、当病院研修会館において「地域で暮らす人々の生活を支援していくために～円滑な医療介護の連携を深める～」というテーマで3回目の「地域交流会」を開催しました。新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、3年ぶりの開催となりましたが、当病院職員と地域のケアマネージャー、行政機関や地域包括支援センター、訪問看護ステーション等より44名の参加がありました。

研修内容は、「在宅の場における連携とは?」「実際支援につなげた事例」「認知症地域支援推進員活動について」の各紹介のあと、グループワークでは、個人・事業所で工夫していること、困っていること、今後、容易に連携するために改善できることについて、他職種各々の立場から日ごろ語れない思いや、疑問など活発な意見交換ができ、短い時間ではありましたが大変有意義な時間を過ごすことができました。

今後も、他職種間の相互の理解や情報共有など連携を深め、地域で暮らす方々を支援していくと共に、地域で活動されている専門職の方々と切れ目ない支援体制の継続と、顔の見える関係づくりに努めていきたいと思ひます。

地域で暮らす人々の生活を支援していくために  
円滑な医療・介護の連携を深める



## 医療安全推進週間

当病院の医療安全管理室は、セーフティーⅡからの医療安全の取り組みを行っています。全職員がその重要性を改めて考え、医療安全を推進していくために推進週間中に「医療安全10の標語」「Good Job報告」「医療安全カルタ(オリジナル)」を掲示しました。また、11月21日に全職員対象の医療安全推進大会を行いました。



## 糖尿病週間

コロナ禍が収まり、これまで通りというわけにはいきませんでした。パンフレットの配布や、ポスター掲示に多くの患者さんが興味を持っていただきました。今後の患者さんの指導に活かせるよう当病院のパンフレット改訂に取り組んでいるところです。お問い合わせ等ございましたら、遠慮なくお申し出ください。



## 褥瘡予防週間

10月20日は、「床ずれの日」となっています。それに合わせ、10月24日から31日まで「床ずれを正しく知って予防しましょう」をテーマに外来フロアに掲示とパンフレットを配置しました。床ずれについて正しい知識を持ち、床ずれの発生を防いでいただき、少しでも皮膚の異常を見つけたら、すぐにかかりつけ医の先生にご相談していただきたいと思います。床ずれは、予防が一番です。



## 感染予防対策

感染リンク部会では、12月8日から25日まで、外来フロアにて「家庭内感染防止対策」として、新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルスなどの感染防止ポスターを掲示しました。家庭内感染では、幅広い年代に感染が広がることが懸念されます。一人一人が手洗い、マスクの着用など感染予防対策を常に心がけて体調を整えることが大切です。今後も皆さんに感染予防対策に興味を持っていただけるような掲示を心掛けていきたいと思っています。



## 記録研修会

11月28日、看護職員を対象に「アセスメントの書ける看護記録」と題して研修会を開催しました。

アセスメントとは、入院中の患者さんが今後どうなるかを予測し、援助が必要な状態かどうかを考え評価・分析することです。今回の研修では実際に事例を通して患者さんが一番苦痛に感じていることや、困っていることとは何かを考えアセスメントしてもらいました。参加者からは、「患者さんの背景や全体像も含めたアセスメントの大切さを改めて感じた」「情報収集から診断を立てるまでのアセスメントの大切さを理解できた」などの声が聞かれ、アセスメントの必要性を学ぶことができたと思います。今回の研修を通してさらに良い看護の提供を行っていききたいと思います。



# 心不全×心臓リハビリテーションセミナー

12月13日、当病院研修会館において、第3回心不全×心臓リハビリテーションセミナーが開催されました。講師の福岡赤十字病院 看護師 平島光先生により「心臓リハビリテーションにおける心不全療養指導士の役割」というテーマでご講演いただきました。

専門的知識を持ち、病棟・外来・心臓リハビリセンターを一元化し勤務され、他職種カンファレンスでの情報共有や継続看護に力を入れ、療養指導の質の向上のために学習会の企画や指導ツールの作成など「患者を中心としたチーム医療のキープレイヤーとしての役割」「つなぐ役割」として力を発揮されている姿に刺激を受けると同時に学びの多い講演でした。

## 看護研究発表会

2023年10月16日、4年ぶりに人数制限なしの看護研究発表会を開催することができました。演題は、入院時のサルコペニアの可能性に関するものと、心不全パンフレットを使用した生活指導に関するものの2つでした。

2つの演題ともコロナ禍の研究で、話し合いや研究方法などの場面でいろんな制限を強いられ、スムーズとは言えない状況の中で行ってきました。そして、患者さんの協力なしにはできなかった看護研究でした。

入院時にサルコペニアの可能性がある人がどれくらい存在するのか調査したところ、全国平均より高い割合で存在しました。

現心不全パンフレットが患者さんにとってどれくらい役に立っているのかを調査する中で、現心不全パンフレットは言葉(薬や検査などのカタカナの用語)が難しいなどのお話を伺うことができ、今後の課題等がみえてきました。

超高齢化社会を迎える2025年問題では、5人に1人が後期高齢者、3人に1人が65歳以上とされています。75歳以上になると病気やけがのリスクも高くなると言われており、予防することができれば、生活の質を維持し、その人らしく生きていくことにつながります。過疎地域とされているこの地域では高齢者のみの世帯も多く、時に満足する介護が受けられない可能性が出てくることも考慮していく必要があります。地域の方々が少しでも長く自立した生活を送ることができるよう、良質の看護を目指し貢献できるよう今回の結果を活かしていきたいと思います。

ご協力いただきました患者様、今年度もご指導くださった長崎県立大学シーボルト校教授 大重育美先生に厚くお礼申し上げます。



## 臨地実習

佐世保市立看護専門学校

10月25日から11月9日まで、2年生10名が「老年実習」を行いました。看護を展開するためには今、患者さんに起っている事象が、疾患や薬の作用、加齢によるものか等の目に見えていることだけでなく、これから起こるかもしれないことも予測して関連性を考える必要があります。学生たちは毎日患者さんの変化を捉え、今何が起きているのか、今後どのような展開になるのか、沢山悩み、考えていました。

患者さんの変化を捉えるというのは臨地実習でしか学ぶことができません。患者さんからの「ありがとう」「将来立派な看護師になってね」の声に励まされ、学生である自分に何ができるかを悩みながら毎日の計画を立てている姿が印象的でした。今回の実習で学んだことを活かし、これからも頑張っていきたいです。



11月20日から12月1日まで3年生10名の統合実習を行いました。ベッドサイドに立つと笑顔で会話し、患者さんのそばに寄り添い、安全・安楽のために援助方法を一生懸命考えて伝えている姿は、さすが3年生で頼もしく思えました。

学生は元気に退院する患者さんの姿を見ることができ、学内実習だけでは学べない、臨地実習の醍醐味を感じることができたと思います。

学生最後の統合実習が学生たちの更なる成長へと繋がり、あとは、国家試験全員合格を目指して最後の最後まで頑張っていきたいです。そして、春から一緒に働くことができたら幸いです。

## ラダーⅢ研修

11月14日、ラダーⅢの看護職員を対象に、当病院の医事課長より「コスト管理」についての研修会を行いました。

私たちは日々、「なぜこういうことをしなくてはいけないのか?」という疑問を持ちながら行っている業務もありますが、今回の研修でその業務内容が「コスト削減」に繋がっていることを理解し、無駄を無くす意識が高まりました。「コスト削減」は、やらなければいけないことを削ったり、ケチったりするのではなく、例えば「使用していない場所の電気」を消したり、「ごみの廃棄方法」などを見直すことで、無駄をなくしていくことだということを学ぶことができました。

## インターンシップ

12月5日から4日間、長崎県立清峰高等学校1年生6名が、「インターンシップ研修」を行いました。コロナ禍で受け入れも3年振りでしたが、不安と緊張の中、全員無事に研修を終えることができました。明るく元気な姿に患者さんや職員も元気をもらいました。

血圧測定、ベッドメイク、環境整備など、看護師の一部の仕事を体験し、最終日には今回の体験で、さらに看護師になりたい気持ちが強くなったと全員から感想を聞きました。

近い将来、一緒に働くことができる日を、首を長くして待っています。お疲れさまでした。



## !! 災害訓練

10月20日、地震による災害発生を想定した院内災害対応訓練を実施しました。新型コロナウイルス感染症対応に伴い、職員を動員した訓練は3年振りとなります。全体訓練の前に、各部門に分かれ、災害対応の流れや自身の役割確認を行ったことで、ブランクを感じさせない訓練にすることができました。

このことから、事前学習や継続して災害対応訓練を行い、災害拠点病院として、災害時に医療を継続させる対応力を磨き地域に貢献していきたいと思います。



## 心血管撮影装置が更新されました

この度、当院の血管造影室に島津製作所製血管撮影システム Triniasを導入しました。

11年使用した装置からの更新であり、今までより鮮明で明瞭な画像をスピーディーに提供できるようになりました。当院では狭心症や急性心筋梗塞に対する、検査・治療を行っております。これからも県北の基幹病院としての地域の一般診療・救急医療に貢献してまいります。



## 火災消火訓練

11月21日に火災消火訓練を行いました。今回も主に新人職員を対象に消火器・消火栓・避難器具のシューターを使った訓練を行いました。訓練に参加した職員一人一人、訓練を通して流れを知る事で落ち着いた行動をとる事、初期消火の大事さなど有事の際の対応を学ぶことが出来ました。



## なでしこ 保育所通信



12月に入り、新しいお友達が加わり3名の在籍となりました。季節が一気に冬となり、建物火災等十分に気を付けなければならない時期になりました。病院の火災訓練に合わせ、今回も、保育士2名が消火器訓練に参加し、万一来臨に備えます。

また、12月16日は、クリスマス会を行い、サンタからプレゼントを手にし、楽しい時間を親子で過ごすことができました。



6年度  
募集医師修学資金貸与制度および  
私立大学医学部学費貸付制度

地域医療から急性期医療まで幅広い医療を提供している北松中央病院において将来 内科、整形外科の医師として勤務しようとする意思を有するものに対して修学に要する資金の一部を貸与するものです。

## 医師修学資金貸与制度

募集人員  
2名程度

## 私立大学医学部学費貸付制度

募集人員  
1名

## ● 対象者

- ①大学の医学を履修する課程に入学を許可されたもの、または在学するもの
- ②医師臨床研修を長崎県内で行う意思のあるもの
- ③北松中央病院に臨床研修後に内科、整形外科の常勤医として勤務する意思を有するもの

## ● 修学資金貸与額

月額 **170,000円** 総額**12,240,000円**  
(6年間貸与の場合)

※修学資金は無利息で貸与します。

## ● 修学資金の返還免除

貸与期間終了後、10年以内に貸与を受けた期間を北松中央病院の常勤医として従事した場合には(最長6年間)修学資金の返還債務は全額免除となります。

## ● 対象者

令和6年4月1日以降に、新たに地方独立行政法人 北松中央病院 医師修学資金貸与制度(左記)により修学資金の貸与を受けようとする私立大学部入学者及び在学中の学生の中で学費の貸付を希望する者。

## ● 学費貸付額

入学金、授業料、施設設備費、教育充実費等正規の修学年限内に本人が支払うべき学費を、無利息で

**3,000万円**

を限度とし、貸付ける。

## ● 返還期間(無利息)

貸付金は、臨床研修後に、年間160万円以上を、月賦若しくは半年賦の方法で、必ず全額返還しなければならない。

※いずれも選考があります。

受付期間

令和6年3月11日(月) まで

※受付時間:午前9時30分～午後4時30分まで(土日、祝祭日は除く)

面接

令和6年3月15日(金)

選考発表:令和6年3月下旬 担当:事務部長

北松中央病院研修会館にて

随時募集

## 薬剤師奨学金貸与制度

## ● 対象者

心身ともに健全で、大学薬学部在学中の4年生以上の学生で、薬剤師免許取得後、当病院に勤務する意思のある方。

## ● 返還の免除

大学薬学部を卒業し免許取得後、直ちに就業し、80,000円貸与の場合は貸与期間以上を120,000円貸与の場合は奨学金貸与期間に1年を加えた期間以上を当病院で薬剤師として勤務した場合は、全額免除となります。

## ● 奨学金貸与額

※奨学金は無利息で貸与します

月額 **80,000円**または月額 **120,000円**(上限)

担当:事務部長・経理課長



随時募集

## 看護師奨学金貸与制度

(若干名)

## ● 対象者

心身ともに健全で、看護大学、看護学校に在籍中又は、入学が決定して資格取得後当院に勤務する意思がある方

## ● 返還の免除

看護大学、看護学校を卒業、免許を取得後直ちに当院に就業し、貸与期間以上を従事した場合は返還を免除します。

## ● 奨学金貸与額

※奨学金は無利息で貸与します

月額 **80,000円**

## ● 新人教育

クリニカルラダーを導入。新人教育はプリセプターにより新人の成長をサポートします。

担当:看護部長



## 職員採用情報

## お問い合わせ

(見学は随時承っております。)

受付:月～金(祝祭日、年末年始を除く) 9:30～16:30  
連絡先:0956-65-3101(病院代表)  
担当:看護部長

| 看護師                                   | 職種   | 看護補助者                                 |
|---------------------------------------|------|---------------------------------------|
| 随時                                    | 採用時期 | 随時                                    |
| 正規職員(夜勤=二交代ができる方)                     | 雇用形態 | 正規職員又は、非常勤職員(いずれも資格不問)                |
| 病棟・血液浄化センター・訪問看護の看護業務全般               | 業務内容 | 清拭、食事介助、排泄援助 他                        |
| 当病院の規定に準じます(経験加算有)                    | 待遇   | (正)148,200円から (非)時給900円から             |
| 週休2日制(ローテーションによる)<br>年末年始、年次有給、産休育休 等 | 休日   | 週休2日制(ローテーションによる)<br>年末年始、年次有給、産休育休 等 |
| 院内保育所有、官舎あり(佐々町) 他                    | 福利厚生 | 院内保育所有、職員旅行有 他                        |
| 採用者が決まり次第終了                           | 応募期間 | 採用者が決まり次第終了                           |

## ◎週間ドクター診療日 (※太字は新患担当)

(令和6年1月現在)

| 診療科目 | 月曜日   | 火曜日            | 水曜日            | 木曜日            | 金曜日                    |
|------|-------|----------------|----------------|----------------|------------------------|
| 呼吸器科 | 徳永 直紀 | 東山 康仁          | 徳永 直紀          | 東山 康仁          | 東山 康仁                  |
| 循環器科 | 田中 規昭 | 福井 純<br>松尾 俊哉  | 田中 規昭          | 福井 純           | ※山佐稔彦(長崎労災病院)<br>松尾 俊哉 |
| 消化器科 | 井上 直樹 | 高森 謙一          | 井上 直樹          | —              | 高森 謙一                  |
| 腎臓内科 | 戸村 秀志 | 久原 拓哉          | 久原 拓哉          | 中沢 有香<br>戸村 秀志 | 中沢 有香                  |
| 整形外科 | —     | ※北原博之(佐世保中央病院) | ※小西宏昭(佐世保中央病院) | —              | —                      |

※非常勤医師

### 受付時間

8:30~11:00

### 診療時間

9:00~12:00

13:00~17:15

(但し、午後は急患のみ)

### 休診日

土曜日、日曜日、祝祭日、  
年末年始(12/29~1/3)

※急患は、診療時間にかかわらず、24時間対応いたします。

### 専門診療施設・機器等

ICU(7床)、感染症病床(2床)、地域包括ケア病床(15床)、血液浄化センター(50床)  
リハビリセンター、健診・人間ドック、内視鏡センター、CT(320列MDCT)、MRI(1.5T)  
心血管造影室、心臓MDCT、超音波検査(心臓、血管、腹部、甲状腺)、  
動脈硬化検査(脈波(PWV, CAVI)、中心動脈圧(AI)、上腕動脈血管拡張反応(FMD))  
心臓リハビリセンター、心肺運動負荷試験(CPX)

### 併設

訪問看護ステーション たんぽぽ  
指定居宅介護支援事業所  
院内保育施設「なでしこ保育所」完備  
救急ヘリポート完備



### Wi-Fi接続サービスのご案内

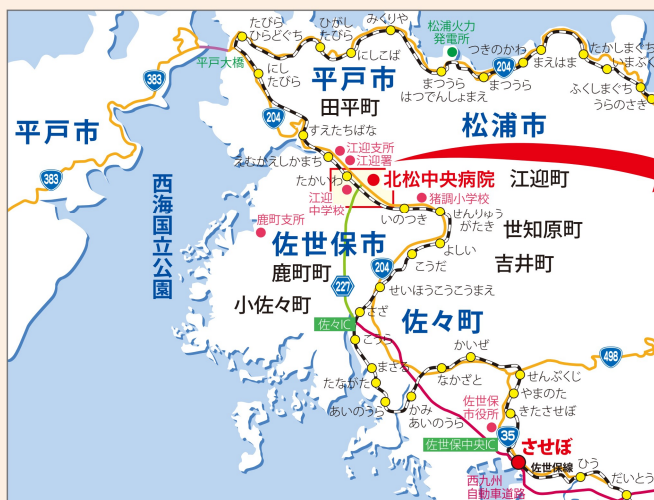
#### Wi-Fi接続サービスご案内



外来待合室での無料Wi-Fiサービスを開始しています。待ち時間を有効に使っていただければ幸いです。

## ◎検査外来

| 午前 | 人間ドック     | 月~金   | 午後 | 大腸ファイバー  | 月・水・木・金 | 午前・午後 | 心エコー  | 月~金 |
|----|-----------|-------|----|----------|---------|-------|-------|-----|
|    | 胃X線検査     | 〃     |    | 心臓カテテル検査 | 火・水・木   |       | 血管エコー | 〃   |
|    | 胃・内視鏡検査   | 〃     |    | 気管支ファイバー | 火       |       | CT    | 〃   |
|    | 腹部エコー     | 〃     |    | ERCP     | 適宜      |       | MRI   | 〃   |
|    | 眼底検査      | 〃     |    | 腎生検      | 〃       |       | 脈波    | 〃   |
|    | トレッドミルテスト | 〃     |    |          |         |       | 肺機能   | 〃   |
|    | 心肺運動負荷試験  | 月・水・金 |    |          |         |       |       |     |
|    |           |       |    |          |         |       |       |     |



#### アクセス



西肥バス……………北松中央病院前下車  
MR松浦鉄道……………高岩駅下車約300m  
車……………国道204号線 江迎町赤坂  
西九州自動車道路 佐々インターより  
県道227号線を約8km

北松中央病院だより vol.58 令和6年1月25日発行 地方独立行政法人 北松中央病院 発行責任者/東山 康仁  
広報委員会:委員長 原口勝典・中村貴泰・前田沙織・内海千美・白石有香里・松永七々子



地方独立行政法人 **北松中央病院**

〔併設〕訪問看護ステーションたんぽぽ・居宅介護支援事業所  
〒859-6131 長崎県佐世保市江迎町赤坂299番地

☎(0956) 65-3101 FAX (0956) 65-2124 <http://www.hokusho.dr-clinic.jp/>